

※音声記事は除外しております。

## ■言葉の背景を把握する為のコンテンツ

### ●5月12日【道徳と心理学の違い】

⇒指令主義…道徳とは詰まる所、「～しなさい」「～しないように」と言う、指令の言語だとする考え方。

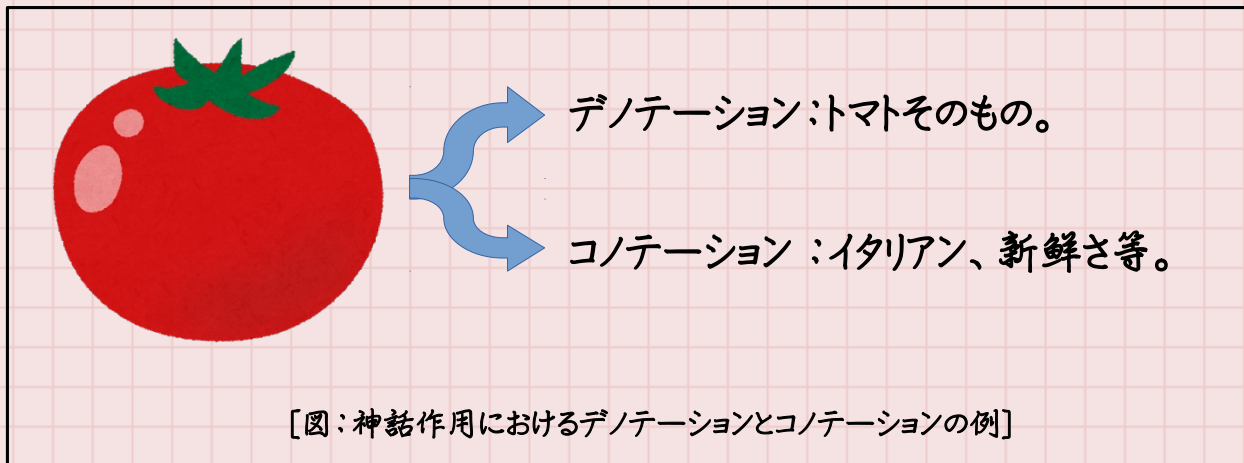
・モダルオペレーター…思い込みの前提にある「助動詞」のこと。実践心理学 NLP では、思い込みを強めたり弱めたりする作用を持つものとして注意・活用する。

### ●5月13日【【上級者向け】刀樹林地獄からの脱却】

⇒神話作用…大衆文化の中に潜む、記号的意味合いの強い表現やその作用のこと。

・デノテーション…記号学において、純粋な対象そのものこと。

・コノテーション…記号学において、対象から読み取れる記号的意味合いのこと。



### ●5月16日【「働きたくない」の内訳】

⇒一般化…部分的事実を全体化する言葉・観念。思い込みを強化する働きがある。

## ■自分らしく、自信を付けていく為のコンテンツ

### ●5月20日【問題を隠すために問題を作る】

⇒自分の本音に向き合わない為の、ダミーとしての問題について

…問題解決と言うと聞こえはいいが、実は問題には、当事者自身が作り上げるダミーの問題がある。ダミーの問題は所詮ダミーに過ぎないので、本当の問題解決にはならない。それでは何故ダミーの問題を作り上げるのかと言うと、自分の本音とか、本当に自分の好きなことと向き合いたく無い為に、その向き合わない為の口実として、ダミーの問題を目の前に連れて来るのである。自分の本音や本当に好きなことと言うのは、それだけ怖いことであり、傷付くかも知れないことなので、別の問題で悩む方に逃げる訳である。

しかしながら、自分の本音に気が付いてしまうと、人生設計が崩れて、それから逃れられない人生に入ってしまう為、ある意味、それに気が付かない方が平和であるとも言える。人間には段階と言うものがあるので、問題解決の相談業では、その点も踏まえてどこまで本音の部分にアプローチするかの匙加減がデリケートゾーンになって来るのである。